

石垣市家庭教育支援チーム広報紙

希(き)杜(ず)南(な)

希：希望に満ちた家庭
杜：島を守る緑豊かな杜(神聖な森)
南：南ぬ島(ばいぬしま)石垣島

【発行目的】

- 支援チームの活動報告と家庭教育に関する
- 情報の提供を行い、青少年の健全育成に資する。

【連絡】

石垣市教育委員会(いきいき学び課)
 沖縄県石垣市美崎町16-6
 ☎TEL 0980-83-0373
 ☎FAX 0980-83-9251
 Eメール kyo-manabi@city.ishigaki.okinawa.jp



第1回 家庭教育支援事業 一口ミニ講話／昔遊び報告

参加者：新川保育所保護者会(5歳児) 8月2日(金)17:00～

期日：8月2日(金)17:00～

場所：石垣青少年の家 体育館於 参加者54人

どんなことをした

- 家庭教育一口ミニ講話 講師 宮良 博之(家庭教育支援チーム)
- 昔遊び 竹トンボ・・・竹トンボ遊びの楽しさを体験する。

一口ミニ講話って、どんなお話？

一口ミニ講話の内容紹介(主な話)

「子どもの脳と身体・心の関係を学ぶ」

1、生後の赤ちゃんの身体の動きと脳神経の関わり

○寝返り・はいはい・たちたちの発達

生後赤ちゃんの発育は急速である。脳の発育と身体の発育は大きく関わる。その発育には順序がある。赤ちゃんとおふれ合い、抱っこ、目を合わせ、声をかけることが重要である。

○三つ子の魂は生涯の人格形成・運動神経の根底をなす。

三歳までの教育が大事である。体験遊びをいっぱいしよう。体験は脳や身体が覚えている。

2、ほめてやらねば人は育たず

○毎日の生活の中で、褒めることをする。

例えば、これから遊ぶ竹トンボは、今日が初めてであれば、できたことを褒めてあげよう。親自身も褒めよう。



愛情が足りない脳



普通の子どもの脳



こんな感想がありました。

「褒めてやらねば、人は育たず！」のお話、
身体が固まりました。

子どもを褒めると、甘えん坊になると思って厳しくしていました。

「お姉ちゃんだろ・・・。こんぐらいはお姉ちゃんだったら当たり前だ！」
から「お姉ちゃんはすごいな。こんなこともできるんだ。すごい！」に変えます。
たった今から。遅くないですよ。

